

専門分野

## 観光学



Ashida Masako

講師 芦田 雅子

危機管理学科

担当科目：観光概論、観光危機管理概論、観光経済分析、ゼミナール

芸術学部

### プロフィール

1984年3月大谷大学文学部卒業  
1989年6月株式会社JTBサポートプラザ入社  
2007年7月倉敷芸術科学大学 講師 着任

### 研究テーマ

産業観光による地域活性化 地域資源と観光振興  
実務指導：旅行業務取扱管理者試験対策

### 主な著書・論文

倉敷生活デザイン展カタログ(2013年1月出版)共著

### 研究活動

倉敷市および周辺の地域資源、観光資源、繊維産業を研究しています。

### 学外活動

公開講座：倉敷市大学連携講座。倉敷みらい講座。倉敷市立図書館。吉備創生カレッジ。

学外活動：

2010年「SHIKI-CON」実行委員会。

2010年 地方の元気再生事業「くるくる・くらしき協議会」事務局。

2010年 瀬戸内四都市広域観光 推進協議会「インバウンド促進事業」により中国語観光 HP の取材、コース作成。

2014年「Made in Kojima」せんいのまち再生戦略策定協議会委員

2010年～現在倉敷市都市景観審議会委員

2017年度 COC 科目「地域体験演習」を担当、児島ポートレース場と連携を組んだ。

NPO 法人「地域資源文化研究所」理事

生命科学部

危機管理学科

産業科学技術学部

# 国際経済法



Kono Masahide

教授 河野 正英

危機管理学科

担当科目：民法 会社法 企業法務 ビジネス法

## プロフィール

1992年 青山学院大学 大学院 法学研究科 博士後期課程 中退  
 1993年 吉備国際大学 社会学部 助手  
 1999年 吉備国際大学 保健科学部 助教授 (2001年退職)  
 2001年 倉敷芸術科学大学 教授 就任

## 研究テーマ

経済法の進展と競争政策、国際取引法における国家管轄権の競合

## 主な著書・論文

### <著書>

2012年 『商取引法講義(初版)』大学教育出版(単著)  
 2016年 『商取引法講義(改訂版)』大学教育出版(単著)

### <論文>

1993年 「米国反トラスト法の域外適用 —その歴史的沿革—」  
 1996年 「米国連邦最高裁による反トラスト法の域外適用論の展開  
 —Hartford Fire Insurance Co. v. California [113 S.Ct. 2891] 判決を中心に—」  
 1999年 「財産関係の国際裁判管轄権 —マレーシア航空事件判決以後の判例の流れ—」  
 2004年～2005年 「職務発明における特許権の帰属と相当の対価について(上)(下)」  
 2006年 「新会社法の制定に伴う経営実務の変化」  
 2007年 「インクカートリッジ特許侵害知財高裁判決」  
 2008年 「外国国家の商業的行為に関する民事裁判権免除」  
 2010年 「倒産法と企業再生」  
 2012年 「第三者割当増資の問題点」  
 2013年 「企業コンプライアンスの諸問題」  
 2014年～2018年 「国際金融規制と米国金融改革法(1)～(5)」  
 2016年 「債権法の改正における諸問題」

## 研究活動

1998年 「確認の利益を欠く不適法な訴えにつき、民事訴訟法上の裁判籍は認められないとして、国際裁判管轄を否定した事例  
 (大阪地判平成9年10月23日)」(東京大学)  
 2000年 「インターネット・ビジネスモデル特許の抵触問題について」(大阪大学)

## 学外活動

2000年 「変わりゆく時代 インターネットの進展と商取引の変化」(ライフパーク倉敷・市民学習センター)  
 2002年 「日本の経済発展を支えた教育・社会システムについて」(河南省洛陽市第十九中学)  
 2002年 「Distribution of Digital Music and Movie Data on E-Commerce System」(夏季ドイツ人交換留学生対象)  
 2004年 「著作権とモラル —著作権の現状と将来—」(倉敷古城池高校2年生対象)  
 2014年 「東アジア情勢と日本の移民政策について」(倉敷物語館)

## 金融論（金融リスク）



Kon sunjin

教授 権 純珍

危機管理学科

担当科目：金融論、金融リスク管理論、ミクロ経済学、演習等

### プロフィール

1994年3月 成蹊大学大学院経済学研究科博士後期課程経済学専攻修了

1994年3月 経済学博士(成蹊大学)

2017年4月 倉敷芸術科学大学危機管理学部 教授

### 研究テーマ

銀行業において、リスク負担管理と金融機能強化、および企業価値の改善・向上に関する研究

### 主な学会等での発表

1. Corporate Social Responsibility and the Increase of Corporate Value in Japanese Financial Institutions, SoonJin Kwon(Kurashiki University of Science and the Art), Yuji Yashima(Wakayama University), Takeshi Kawaji(Seikei University), European Association for Japanese Studies, International Conference 2017, September 2 2017, Universidade Nova de Lisboa -Faculty of Social Sciences and Humanities, Portugal.
2. 金融機関のCSV 活動と金融リスク、権 純珍、総合危機管理学会第2回学術集会、2017年5月、於東京理科大学神楽坂キャンパス。

### 共同研究

- ・研究種目：科研費基盤研究(C) 分担(銀行経営行動モデルの構築、余剰分析等)
- ・研究課題：CSR 活動への継続的投資を促進する管理会計システムの導入研究：銀行業を中心に
- ・研究期間：平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月

# 環境粘土鉱物学/自然災害危機管理



Sakamoto Takabumi

教授 坂本 尚史

危機管理学科

担当科目：危機管理学概論、自然災害論、資源経済論、環境リスクマネジメント

## プロフィール

- 1975年 早稲田大学大学院工学研究科鉱山および金属工学専攻 博士課程 修了  
岡山理科大学理学部講師 就任
- 1985年 岡山理科大学理学部教授 就任
- 2004年 千葉科学大学危機管理学部教授 就任
- 2017年 倉敷芸術科学大学危機管理学部教授 就任

## 研究テーマ

- 岩石鉱物の化学的風化作用に関する実験的研究
- Mg系粘土鉱物の合成と鉱物学的性質の解明
- 土砂災害の要因としての粘土鉱物の研究

## 主な著書・論文

- <著書>
- 2009年 粘土ハンドブック第3版
- 2010年 機能性粘土鉱物の最新動向
- <論文>
- 1997年 水熱条件下におけるMg系粘土鉱物の生成と変化、スメクタイト研究会報。7、21-30.
- 2006年 中華人民共和国河南省および河北省における長繊維状セピオライトの産状について、粘土科学、45、188-199. 2006年 中華人民共和国貴州省における長繊維状パルゴルスカイトの産状とその鉱物学的性質について、粘土科学、45、200-210.
- 2008年 フィリピン共和国レイテ島地すべり再調査. 地質ニュース、647、17-24.
- 2013年 Investigation of the Heat Generation and Spontaneous Ignition of Disaster Waste Generated after the 2011 Great East Japan Earthquake. Fire Safty Jour., 59, 223-233.
- 2016年 Artificial Chemical Weathering of Plagioclase by Acidic Hydrothermal Solutions -The Effect on Chemical Composition of Hot Spring Water-, 温泉化学、66、89-106.
- 2017年 自然災害による最悪の事態を回避するための結果事象型イメージトレーニングの提案と実践、地域安全学会論文集、30.

## 主な学会等での発表

- 2005年 Mechanochemical Effects on Phase Transformation for Some Magnesium-bearing Clay Minerals, 13<sup>th</sup> International Clay Conference.
- 2010年 Dehydration Mechanism and Structural Transformation of Palygorskite, 2010 TMC.
- 2014年 最悪の結果から考える弱点発見ワークショップの試行、第47回安全工学会研究発表会.
- 2016年 粘土鉱物の溶融特性、第60回粘土科学討論会.

## 学外活動

- 2005年~2009年 国際粘土鉱物研究連合(AIPEA)副会長
- 2006年~2011年 日本粘土学会会長
- 2011年~2017年 千葉県環境影響評価委員会委員

専門分野

## サービス/マーケティング/経済政策



Takahashi Ryouhei

講師 高橋 良平

危機管理学科

担当科目：経済政策、地域政策論、保険学、企業経営危機論Ⅰ(経営リスク)  
企業経営危機論Ⅳ(地政学リスク)

芸術学部

### プロフィール

2001年 鳥取大学大学院 工学研究科 社会開発システム工学専攻 修了  
2001年 トランスコスモス株式会社  
2004年 株式会社ブレインパッド  
2007年 株式会社鳥取銀行  
2018年 倉敷芸術科学大学 講師 就任

生命科学部

### 研究テーマ

金融サービス・マーケティング研究  
統計を用いたデータベース・マーケティングの実践研究  
地方創生に向けた地域政策研究

危機管理学科

### 主な著書・論文

2015年 ICTを活用した顧客関係性構築  
(論文・単著、岡山理科大学地域分析研究会「社会情報研究」第14号 1-18頁)  
2017年 ICTを活用した企業・消費者間の顧客関係性構築について 一 小売業・地域銀行の比較から一  
(日本消費経済学会「消費経済研究」第6号 157-169頁)

### 主な学会等での発表

2014年 高齢化・人口減少に伴う地方預金減少の地域銀行・地域経済への影響  
(日本消費経済学会全国大会、長崎県立大学)  
2016年 東アジア・東南アジアの付加価値輸出に関する考察  
(アジア市場経済学会全国研究大会、東亜大学)  
2017年 アジア諸国におけるフィンテックによる金融サービス変革の比較検証  
(アジア市場経済学会全国研究大会、和光大学)

産業科学技術学部

専門分野

## マーケティング



Tabara Shizuka

准教授 田原 静

危機管理学科

担当科目：マーケティング論、事業継続計画(BCP)、コーポレート・ガバナンス論、  
経営リスク認知論

芸術学部

### プロフィール

2012年 広島大学大学院 社会科学部 博士課程前期修了

2017年 倉敷芸術科学大学 就任

### 研究テーマ

サービス利用下における消費者－消費対象物間関係の研究

### 主な著書・論文

2013年 情報提供動機と購入意向の関係：消費者参加型製品開発ネット・コミュニティの事例より(マネジメント学会、マネジメント研究第14号)

2014年 生産と消費を行き交うネット上の消費者行動(日本消費経済学会、消費経済研究第3号(通巻第35号))

### 主な学会等での発表

2013年 「生産と消費を行き交うネット上の消費者行動」 日本消費経済学会第38回全国大会

生命科学部

危機管理学科

産業科学技術学部



Tsuchiya Hiroyuki

教授 土屋 博之

危機管理学科

担当科目：リスクマネジメントの基礎、リスクマネジメントの実践、リスクコミュニケーション、  
経営リスク評価論、危機管理と社会制度

プロフィール

- 1985年1月 富士ゼロックス株式会社 入社
- 2013年3月 高知工科大学 工学研究科 基盤工学専攻 起業家コース 博士後期課程 修了
- 2015年3月 富士ゼロックス株式会社 退職
- 2015年4月 関西外国語大学 准教授 就任
- 2017年4月 倉敷芸術科学大学 教授 就任

研究テーマ

従業員行動が「企業の品質」に与える影響-リスクマネジメントを中心として-

主な著書・論文

- 2014年 『企業における行動規範教育の実践』 単著、  
関西外国語大学人権教育思想研究所『人権を考える』第19号、pp95-115【論文】
- 2013年 『企業不祥事と持続可能性』 単著、ピットソリューション、130頁、【著書】
- 2013年 『リスクマネジメントの巧拙が株価に与える影響～CSRからの視点を中心として～』 単著、  
実践経営学会機関誌『実践経営』第50号、pp101-110【論文】
- 2013年 『日本企業の持続可能性におけるビジネスリスクの研究～企業不祥事に対するリスクマネジメントを中心として～』  
単著、  
高知工科大学大学院(博士論文)、総130ページ【論文】
- 2006年 『インナーにおけるインターナル・ブランディングの重要性』 単著、  
名古屋学院大学大学院 院生協議会発行『経済経営論集』第9号、pp57-73【論文】
- 2005年 『ビジネス機械メーカーの日本市場における成長要因の考察～PPC(Plain Paper Copying Machine)メーカーを中心として～』 単著、名古屋学院大学大学院 院生協議会発行『経済経営論集』、第8号、pp51-84、【論文】

主な学会等での発表

- 2012年 『リスクマネジメントの現状と課題～食品会社を中心に～』 単独、  
経営行動科学学会(第15回年次大会)、於:神戸大学
- 2012年 『リスクマネジメントの巧拙が株価に与える影響～CSRからの視点を中心として～』 単独、  
実践経営学会(第55回全国大会)、於:久留米大学
- 2017年 『従業員行動が「企業の品質」に与える影響～企業不祥事は何故起こるのか?～』 単独、  
日本リスク管理学会(第1回 全国学術大会・リスク管理フォーラム)、於:町田市(東京都)文化交流センター

研究活動

- 2010年 - 2013年 『日本企業の持続可能性におけるビジネスリスクの研究』
- 2005年 - 2008年 『日本企業の品質向上における経営リスク・コントロール』
- 2003年 - 2004年 『日本企業の品質向上における経営リスク・コントロール』

学外活動

- 2017年 ～ 現在 : (理事)日本リスク管理学会
- その他の加入学会 : 総合危機管理学会、日本リスクマネジメント学会、日本ビジネス・マネジメント学会、実践経営学会、  
経営行動科学学会、人を大切にする経営学会



Tokuda Misato

准教授 徳田 美智

危機管理学科

担当科目：経営学概論、経営学総論、企業情報概論、スポーツ経営学、企業経営論

プロフィール

2012年 広島大学社会科学部研究科マネジメント専攻修士課程前期 修了  
 2014年 広島大学社会科学部研究科マネジメント専攻非常勤講師 就任  
 2017年 倉敷芸術科学大学准教授 就任

研究テーマ

中小企業のIT化における資源調達・資源統合に関する研究、製造業のサービス化に関する研究

主な著書・論文

2016年 「ユーザ企業が求めるITベンダーとの関係性-ユーザ企業の価値創造に着目して-」  
 (論文・単著、IT経営ジャーナル Vol.3)  
 2016年 「中小製造業におけるサービス化のプロセスに関する一考察-精密鋳金加工業A社の事例を中心に-」  
 (論文・単著、工業経営研究 Vol.30 No.2、pp.13-21)

主な学会等での発表

2013年 「情報システム活用のための促進要因に関する考察-中小企業IT経営大賞受賞企業を中心に-」  
 (第28回工業経営研究会全国大会、大阪市立大学学術総合情報センター)  
 2014年 「ユーザ企業が求めるITベンダーとの関係性に関する研究-ユーザ企業の顧客価値生成に着目して-」  
 (第29回工業経営研究会全国大会、北海学園大学)  
 2015年 「製造業のサービス・ビジネスへの転換に向けて-サービスロジックの視点に着目して-」  
 (第30回工業経営研究会全国大会、明治大学)  
 2016年 「ユーザ企業のIT化における資源統合プロセスに関する研究」  
 (第173回経営診断学会関西支部会、流通科学大学大阪オフィス)

研究活動

2011年～2012年 「中小企業の情報システム活用のための促進要因に関する研究」  
 2013年 「ユーザ企業が求めるITベンダーとの関係性に関する研究」  
 2014年～2015年 「中小製造業のサービス化に関する研究」  
 2016年～ 「中小企業のIT化における資源統合プロセスに関する研究」

学外活動

2015年 マネジメント学会評議員



# データベース・情報検索



Pradhan Sujeet

教授 プラダン スジット

危機管理学科

担当科目：情報社会とモラル・教養ゼミナールⅠ・教養ゼミナールⅡ

芸術学部

## プロフィール

1997年4月：日本学術振興会特別研究員(1999年3月まで)  
 1999年5月：倉敷芸術科学大学産業科学技術学部 講師(2003年3月まで)  
 2010年4月：倉敷芸術科学大学産業科学技術学部 教授(2017年3月まで)  
 2017年4月：倉敷芸術科学大学危機管理学科 教授(現在に至る)

## 研究テーマ

メディアストリームの部分検索におけるデータモデルや問い合わせ処理の最適化について

生命科学部

## 主な著書・論文

- ・ビデオデータ検索のための区間グルー操作と解のフィルタリング  
 1999年2月 情報処理学会論文誌:データベース 40巻 SIG03号(TOD 1), pp.80~90
- ・Algebraic retrieval of fragmentarily indexed video  
 2000年9月 Journal of New Generation Computing Vol. 18, No. 4 Sep 2000 (pp.359~374)
- ・A query model to synthesize answer intervals from indexed units  
 2001年9月 IEEE Transactions of Knowledge and Data Engineering Vol.13.No.5 IEEE Press (pp.824~838)
- ・Extending information unit across media streams for improving retrieval effectiveness  
 2013年1月 Data Knowl. Eng. (Elsevier): (5-year Impact Factor: 1.7) International Journal, 83: 70-92 2013

## 主な学会等での発表

- Two-Dimensional Retrieval in Synchronized Media Streams”, 14th Int’l Conf. DASFAA, Brisbane, Australia: Springer-Verlag, LNCS (査読有), 236-240 2009
- Towards a Novel Desktop Search Technique, Proceedings of 18th Int’l Conf. DEXA, Germany: Springer-Verlag, LNCS (査読有; 採択率 30% に満たさない), pp. 192-201, 2007
- An Algebraic Query Model for Effective and Efficient Retrieval of XML Fragments”, Proceedings of 32nd Int’l Conf. VLDB, Korea: ACM Press (査読有; 採択率 14% に満たさない), pp.295-306

危機管理学科

## 研究活動

- ・科学研究費補助金, 若手研究(B), 2002年~03年度, Web 文書を検索するための代数的な問い合わせモデルに関する研究, 研究代表者, 3000 千円
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 2008年~10年度, 次世代パーソナル情報管理システムにおけるデータモデル・検索に関する研究, 研究代表者, 3400 千円
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 2011年~13年度, 同期化メディアストリームコンテンツにおける高度情報統合・検索手法に関する研究, 研究代表者, 3900 千円
- ・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 2016年4月~18年, オンラインコース教材におけるメディアストリームの部分検索のための量子論適用の研究 3500 千円

産業科学技術学部

## 学外活動

所属学会：①IEEE and IEEE Computer Society(2000年~現在に至る)  
 ②ACM(2004年~現在に至る) ③情報処理学会：日本データベース学会(2008年~現在に至る)  
 学会役員：日本データベース学会 運営委員会(2007~2010)・日本データベース学会 査読員(2007~2010)  
 DASFAA 国際会議 PC メンバー, 査読員(2007~2008)  
 Data and Knowledge Engineering (Elsevier) 論文誌査読員(2004)

# 産業制御システムセキュリティ



Murayama Yukio

教授 村山 公保

危機管理学科

担当科目：情報セキュリティ、情報ネットワーク概論、倉敷産業研究、倉敷まちづくり基礎論、コンピュータリテラシ

芸術学部

## プロフィール

- 1992年 東京学芸大学 教育学部 特別教科教員養成課程 理科専攻 地学専修 卒業
- 1992年 日本電気技術情報システム開発株式会社 勤務 (1994年退社)
- 1998年 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 情報システム学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)取得
- 1998年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 ソフトウェア学科 助手 就任
- 1999年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 ソフトウェア学科 講師 就任
- 2001年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 ソフトウェア学科 助教授 就任
- 2007年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 コンピュータ情報学科 准教授 就任
- 2009年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 IT科学科 教授 就任
- 2017年 倉敷芸術科学大学 危機管理学部 危機管理学科 教授 就任

生命科学部

## 研究テーマ

- 産業制御システムセキュリティ
- 情報家電とネットワーク組込みシステム
- 高度情報技術者教育

## 主な著書・論文

- 2004年 「基礎からわかる TCP/IP ネットワーク実験プログラミング第2版」(著書・単著、オーム社、pp.378)
- 2006年 「C プログラミング入門以前」(著書・単著、毎日コミュニケーションズ、pp.342)
- 2010年 「基礎講座 C」(著書・単著、毎日コミュニケーションズ、pp.400)
- 2012年 「マスタリング TCP/IP 入門編第5版」(著書・共著、オーム社、pp.376)
- 2015年 「コンピュータを学ぶための基礎知識 (点字版)」(著書・単著、筑波技術大学、pp.691)
- 2015年 「Arduino によるコンピュータプログラミング入門(点字版)」(著書・単著、筑波技術大学、pp.748)
- 2015年 「基礎からわかる TCP/IP ネットワークコンピューティング入門第3版」(著書・単著、オーム社、pp.344)
- 2017年 「インターネットプロトコル、アーキテクチャ」(著書・共著、電子情報通信学会、電子情報通信学会 100 年史、pp.252-258)

危機管理学部

## 主な学会等での発表

- 2015年 制御システムにおける脆弱性の発見手法に関する研究
- 2016年 次世代インターネットアーキテクチャに関する研究  
次世代インターネット技術を利用したアプリケーション開発に関する研究
- 2017年 プログラミング教育におけるカリキュラムの作成  
制御システムセキュリティにおける教育カリキュラムに関する研究

産業科学技術学部

## 学外活動

- 2012年～ 水島まちづくりの集い 議長
- 2014年～ 大学コンソーシアム岡山対面・遠隔講義委員会 副委員長
- 2016年～倉敷市くらしきベンチャーオフィス審査委員 会委
- 2017年～岡山県高度情報化推進協議会 幹事
- 2017年～独立行政法人 情報処理推進機構 産業サイバーセキュリティセンター リサーチフェロー



Yamanaka Takamitsu

教授 山中 高光

危機管理学科

担当科目：経済学概論、経済危機論、マクロ経済学、財政学、国際経済学

プロフィール

1988年 愛知大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程単位取得満期退学  
 1999年 中京学院大学経営学部 助教授  
 2008年 花園大学文学部 教授  
 2017年 倉敷芸術科学大学危機管理学部危機管理学科 教授

研究テーマ

家計消費の経済分析(日本、アジア)、経済のサービス化、サービス貿易

主な著書・論文

2013年 「インドの個人消費支出の動向について」『アジア市場経済学会年報』第16号 pp.35-45  
 2014年 「インドの家計消費パターンの動向について」『アジア市場経済学会年報』第17号 pp.90-111

主な学会等での発表

2014年 「近年の日本の家計消費支出構造の変化について」 日本消費経済学会第39回全国大会  
 2015年 「サービス貿易の現状と展望」 日本消費経済学会第40回全国大会  
 2015年 「インドの消費格差について」アジア市場経済学会第20回全国研究大会  
 2016年 「経済のサービス化とサービス貿易—消費者の視点から—」日本消費経済学会第41回全国大会  
 2017年 「日本の名目GDPと家計消費の動向について—JSNA平成23年基準改定と2008SNA対応を踏まえて—」日本消費経済学会中部部会



Watadani Shingo

教授 渡谷 真吾

危機管理学科

担当科目：コンピュータリテラシ、入門統計学、経済統計解析学 など

プロフィール

- 1986年 岡山大学 理学部 物理学科 卒業
- 1988年 岡山大学大学院 理学研究科 数学専攻 修了  
岡山大学大学院 自然科学研究科 システム科学専攻 入学
- 1989年 岡山大学大学院 自然科学研究科 システム科学専攻 中途退学  
山陽学園短期大学 助手 就任 (1995年 退職)
- 1994年 岡山大学大学院 自然科学研究科 システム科学専攻 博士(学術) 学位取得
- 1995年 倉敷芸術科学大学 講師 就任
- 2001年 倉敷芸術科学大学 助教授(准教授) 昇任
- 2009年 倉敷芸術科学大学 教授 昇任

研究テーマ

- 多変量解析の感度分析
- 順位に基づく統計量の分布の正確計算
- 2項分布の正確計算
- 正規分布の正確計算 など

主な著書・論文

- 博士論文 SENSITIVITY ANALYSIS IN COVARIANCE STRUCTURE ANALYSIS (今日分散構造分析における感度分析) 1994年
- Influence in covariance structure analysis: with an application to confirmatory factor analysis, Communication in Statistics - Theory and Methods, Vol. 20, No. 12, pp. 3805-3821, 1991年
- Sensitivity analysis in covariance structure analysis with equality constraints, Communication in Statistics - Theory and Methods, Vol. 21, No. 6, pp. 1501-1515, 1992年
- On the permutation distribution of the rank product-moment statistics, Journal of the Japanese Society of Computational Statistics, Vol. 5, No. 1, pp. 51-63, 1992年
- An association analysis based on a statistic orthogonal to linear rank statistics, Behaviormetrika, Vol. 20, No. 1, Pp. 17-33, 1993年
- Sensitivity analysis in Covariance structure analysis::a numerical investigation in the case of confirmatory factor analysis, Statistical Science and Data Analysis, pp. 197-209, K. Matsushita et al. (Eds) VSP, 1993年
- Statistical Software SACS - Sensitivity analysis in multivariate methods, Journal of the Japanese society of Computational Statistics, Vol. 7, No. 1, pp. 105~118, 1994年
- 感度分析プログラム SAMMIF, 計算機統計学, 第10巻・第2号, pp. 145-153, 1997年